

# 令和4年度 東京都立桜町高等学校経営計画（定時制課程）

東京都立桜町高等学校  
校長 門 馬 誠

## I 目指す学校像

### 1 スクール・ミッション（期待される社会的役割、学校の使命、目指すべき学校像）

「自ら学び、考え、行動する人を育てる」「生涯学習の基礎を培う」ことを教育目標とし、潤いのある学習環境の確保、きめ細かな学習指導・生活指導、3年間でも卒業できる柔軟な制度、成人者とともに学ぶことを大切にする教育活動を通じ、自分や他の人を大切にし、社会の一員として学び続け、成長する生徒を育成します。

### 2 グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

- (1) 生涯にわたって学び続けるのに必要な基礎的な学力の育成
- (2) 基本的な生活習慣の確立
- (3) 社会の一隅を担える社会人として生きていく資質能力の育成
- (4) 自らの価値観を尊重し、より高度な自己の形成に取り組む姿勢や意識の醸成
- (5) お互いに人として尊重し、より良好な関係を構築・維持する姿勢や意識の萌芽

### 3 カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

- (1) 学びが進む良好な学習環境の整備
- (2) きめ細やかな学習指導・生活指導・生徒対応
- (3) 3年間でも卒業できる柔軟な制度の活用
- (4) 多様な学習歴・多様な生活経験を持つ生徒と共に学ぶ機会を大切にする教育活動

### 4 アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

- (1) 高校卒業に対して強く意欲を持って学ぼうとする生徒
- (2) 社会的に物事の分別を理解し、行動に反映できる生徒
- (3) 他者を思いやり、自己も大切にし、誠実さや責任感をもった行動ができる生徒
- (4) 自らの誇りを持って、働きながらも学び続けることに励む努力を惜しまない生徒

## II 中期的目標と方策

入学生徒・保護者のニーズに応えるために、普通科夜間定時制高校の教育活動の特性を生かして、生涯学習の基礎を培う教育活動を展開し、生徒の学校生活に対する満足度を高めると共に、卒業後の生活で活用できる資質能力を獲得させるために、以下の方針の下に、本校の教育活動に取り組む。

### 1 学習指導

- (1) 生涯学習の基礎を養う教育課程の下に生徒にとって分かりやすい授業の実践
- (2) 3年修了制の活用
- (3) 豊かな心をはぐくむ読書活動や道德教育の推進

### 2 進路指導

- (1) 卒業後の進路先を見据えた学年進行に応じた系統的な進路学習の推進
- (2) 学年進行に即した組織的な進路指導

### 3 生活指導

- (1) 相互に落ち着いて過ごせる環境を維持するための社会規範の定着
- (2) 健やかな身体をつくるための健康づくりの推進

### 4 特別活動

- (1) 生徒一人一人が積極的に取り組める機会を提供し、課題解決に至る達成体験の確保

(2) 自己肯定感が持てる活動の推進

## 5 国際理解教育

(1) 世の中の国際化や共生等、社会の多様性に対応できる生徒の育成

## 6 地域連携

(1) 地域社会と連携し地域活動に参加すると共に、本校の学校の活動への理解の浸透

## 7 広報活動

(1) 年間を通して積極的にホームページ・説明会等を活用した学校広報や募集活動に努め、本校の特色を理解し意欲ある入学希望者を確保する。

(2) 今一度本校の特色ある活動を検証し、桜町高校の魅力を適切に発信できるようにする。

## 8 学校運営

(1) 担当部署が企画・立案・運営母体となり、実働は全教職員で担当する組織体制を浸透させる。

(2) 個々の教職員のライフ・ワークバランスに配慮した組織運営を推進する。

(3) 学校経営計画に基づく予算編成・施設管理・学事・教育環境整備などを担う経営企画室の機能を、有効に活用した学校運営を推進する。

# Ⅲ 今年度の取組目標と方策

## 1 学習指導

(1) 1年次では、生涯学習の基礎を培うため、生徒が生きる力をはぐくむことを目指し、基礎的・基本的な知識及び技能を習得させる。

(2) 生徒の興味・関心を高めたり、生徒が自信をつけるような、授業の創意工夫を実践する。

(3) 基礎学力の向上、学力不足生徒への対応、資格取得支援等を目的にした補習・補講を、放課後や長期休業日中に実施する。また、漢字検定、英語検定等の資格取得支援について、全日制とも連携を図りつつ資格取得を支援する。

(4) 教員相互の授業見学・校内研修の他に、本校全日制や他校の授業公開・研究協議会等に参加する。

(5) 3修制の申請者を5名以上確保し、申請者の学校外の学修の情報提供を行い、外部単位の修得を支援する。

## 2 進路指導

(1) 生徒の希望進路を実現するために、入学時から自己の在り方や生き方を考えさせるキャリア教育を主軸にして、進路部・担任団を中心に組織的・主体的に関わる指導を組織的・計画的に実践する。

(2) 「進路だより」の定期的な発行やポスターの掲示等で進路情報の提供を効率的に行い、進路意識を高める。

(3) 1年生から「進路の手引」を配布し、進路情報誌やインターネットによる求人票閲覧等、情報発信を推進する。

(4) ハローワーク等諸機関との連携の進路説明会や上級学校訪問を活用し、全学年を対象とした進路行事の工夫・改善を図る。

## 3 生活指導

(1) 「チャイムで授業開始」の授業規律の確立、生徒の授業の取り組み方（授業遅刻、中抜け、授業中の携帯電話使用、筆記用具や教科書忘れ等）を年間を通じて指導し、落ち着いた学習環境を維持する。

(2) 全教職員による定期的な校内巡視や登校時の正門指導、下校時の周辺巡回等を実施し、生徒の規範意識の確立を目指す。

(3) 生徒の学校に対する帰属意識を養うため、学校行事の工夫・充実を図るとともに、生徒が楽しいと思える学校づくりを推進し、学校行事への参加率を維持していく。

(4) スクールカウンセラーのカウンセリングを効果的に活用し、教職員対象の校内研修や情報交換会を実施し、校内の相談・指導体制を構築して、生徒のための生命尊重の教育・心の教育に組織的に対応する。

(5) 交通安全、セーフティ教室、薬物乱用防止教室を開催し、社会のルールやマナーを身に付ける指導を行い、

健全な社会観を育成する。

(6) いじめの総合対策に基づき、いじめの未然防止、早期発見、早期対応に取り組む。

#### 4 特別活動

- (1) 生徒の要望を反映させ、部活動顧問が確実に付き添う支援体制を構築し、部活動の活性化を図る。
- (2) 総合的な子供の基礎体力向上策に基づき、運動・スポーツに親しめる元気な生徒の育成を目指し、基本的生活習慣の定着や改善に向けて、体育的行事を充実させ健やかな身体づくりを行う。
- (3) 学期ごとの集会や行事の開閉会式など、あらゆる機会での講話等を通して、豊かな心の育成に生かし落ち着いた学校生活に導く。
- (4) 図書館の環境整備、授業での図書館活用、図書館だよりの発行などにより図書館の有効活用を促し、読書活動を推進する。
- (5) 全教員で給食指導を実践し、「食育」重視による摂食及び食堂利用のマナー向上指導に取り組む。
- (6) 定時制単独で実施する文化祭の内容の工夫と充実を図り、多くの方々が来校される方策を検討するとともに、生徒が自己肯定感・達成感・自信を持たせる工夫を行う。

#### 5 地域連携

- (1) 地域自治会等の活動に参加し、地域の人々と交流することで、社会への協同意識を高める。

#### 6 広報活動

- (1) ウェブサイト（ホームページ）の内容の充実と更新や学校広報紙「さくらまち」を通じて、学校の取り組みや生徒の活動内容の情報発信に努める。
- (2) 募集対策には全教職員で取り組み、近隣中学校、社会教育施設訪問、不登校生徒施設との連携を図り、本校の教育活動や目指すところを明確に周知する。
- (3) 受検生と保護者などを対象とした学校説明会や授業公開を実施するとともに、随時入学相談に応じる。

#### 7 健康づくり

- (1) 生徒個人の心や体の状況を把握し、発達段階に応じた健康づくり・体力向上を目指す。
- (2) 体罰根絶・いじめの未然防止、早期発見、早期対応に取り組むため、「体罰根絶に向けた総合的な対策」や「いじめ総合対策」に基づき、学校全体として組織的取組を推進する。
- (3) 自殺対策に資する教育を推進する。学業や生活面についての相談活動を継続して行うとともに、家庭と連携して生徒の心のサインを見逃さない生徒指導を推進する。

#### 8 学校運営

- (1) 各分掌・学年・企画室責任者間で企画調整会議前に案件整理・事前協議を行い、企画調整会議にて案件整理・全体周知を図り、職員会議にて全体周知確認・最終判断という進行管理に努める。
- (2) 各教職員のライフ・ワークバランスを意識した校務への取り組みを配慮し、各自が校務達成のための時間管理を図れるように助言支援する。
- (3) 経営企画室職員は各分掌・学年からの予算執行の調整を行うとともに、学事・契約等の運営機能が十分支障なく動くように、担当ごとに点検しながら業務にいそむ。

#### 9 デジタル技術を活用した教育の推進

- (1) オンライン学習や調べ物学習等、タブレット端末等を活用した授業展開や教育活動を推進するにあたり、教職員への研修を導入する。
- (2) 対面授業と補足的な ICT 活用の学習支援のハイブリッド体制を組織的に構築する。

#### IV 今年度の数値目標

今年度取組目標と方策（数値目標）	
<b>1 学習指導</b>	
(1) 年度末の各科目の評定平均	3.0以上
(2) 授業外での全生徒の学習時間	週当たり3時間
<b>2 進路指導</b>	
(1) 全教員でケース会議	年3回
<b>3 生活指導</b>	
(1) 全生徒「遅刻0の日」	年間3回
<b>4 特別活動</b>	
(1) 学校行事参加率	90%以上
(2) 個人での校外の大会等参加	3人以上
<b>5 地域連携</b>	
(1) 地域自治体等の活動に参加	2回以上
<b>6 広報活動</b>	
(1) ホームページの更新回数	年間で100回以上
<b>7 健康づくり</b>	
(1) 年間のいじめ案件	0件
<b>8 学校運営</b>	
(1) 服務事故等学校運営上の課題	0件
<b>9 デジタル技術を活用した教育の推進</b>	
(1) ICT機器活用による授業研究協議（各教科で実施）	年2回